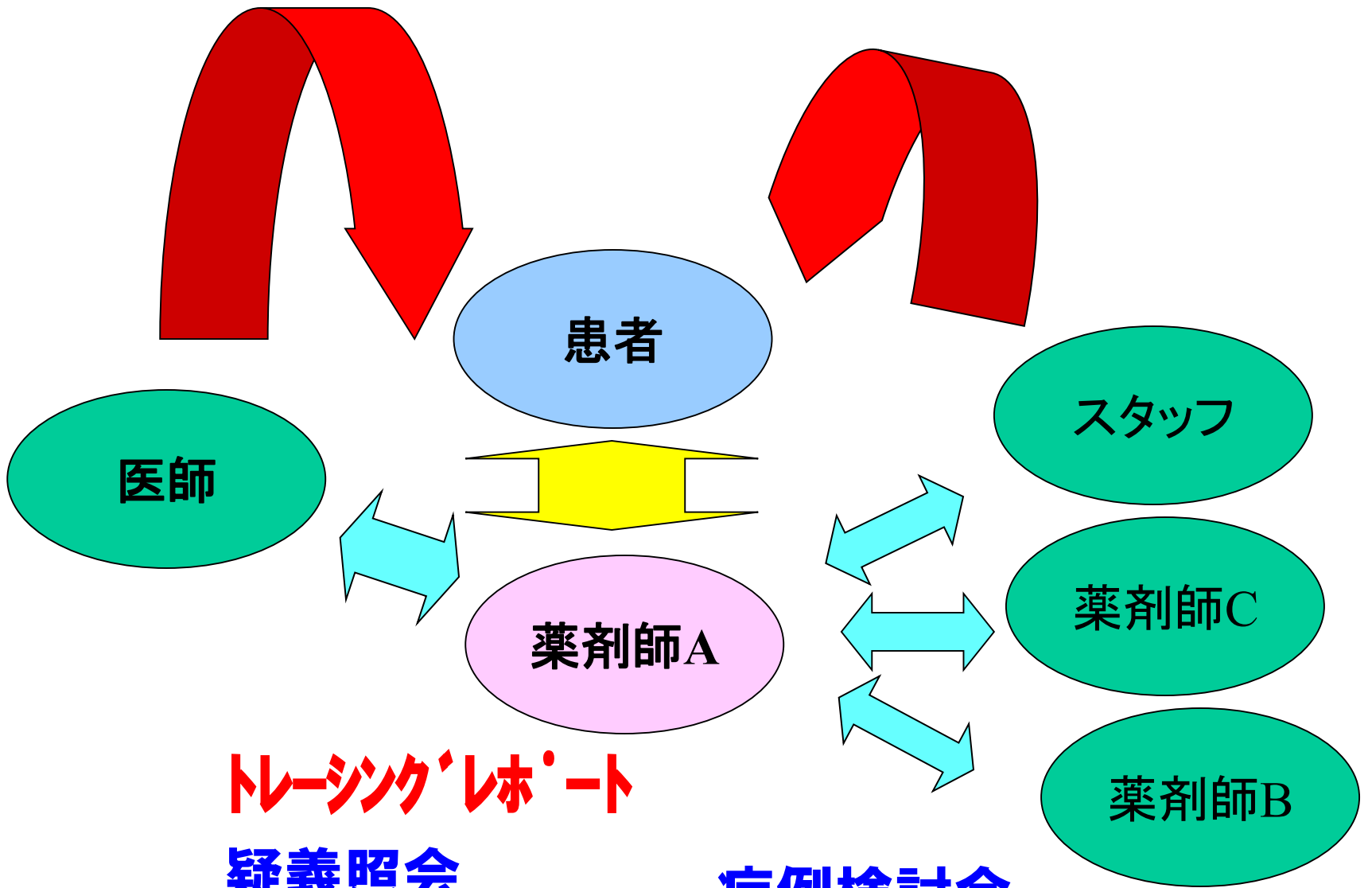


組織で取り組む トレーニングレポートの現状と分析

○越智 英治¹ 石元 秀和¹ 菊田 基¹ 牧野 和隆²

¹株式会社トマト

²就実大学薬学部臨床薬学教室



トレーニングレポート

疑義照会

症例検討会

薬局内勉強会

薬局薬剤師の仕事の範囲

TR表とは？

文章を用いて、患者様が医師に伝えていない治療上重要な事柄を医師へ伝える手段。

TR表と疑義照会の違いは？

緊急性を要する連絡は疑義照会
緊急性を要さない報告はTR表で連絡。

〇〇医院 〇〇 〇先生侍史

トレーニングレポート

患者名越智英治

平成20年10月12日

処方（処方日平成20年10月1日）
1、プロプレス8mg 1錠
1日1回朝食後

コンプライアンス

良好

併用薬剤(有り・無し) 病院名

医師名

一般用医薬品(有り・無し)

健康食品等(有り・無し)

コメント〔重複、副作用、患者からの訴え、他〕

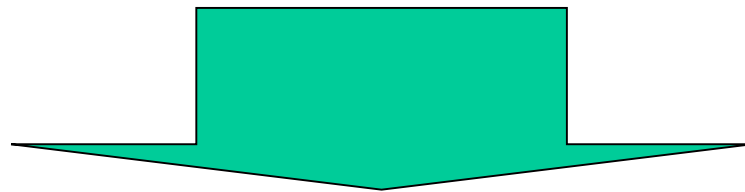
薬局名
住所
担当薬剤師

TEL
FAX

トレーニングレポートの役割

医師 **強み:** 処方権あり。検査・診断出来る。
弱み: 患者と話せる時間短い。
患者からの敷居高い場合あり。

薬剤師 **強み:** 患者と話せる時間長い。
(薬局) 患者からみて話しやすい場合あり。
弱み: 処方権なし。検査・診断出来ない。

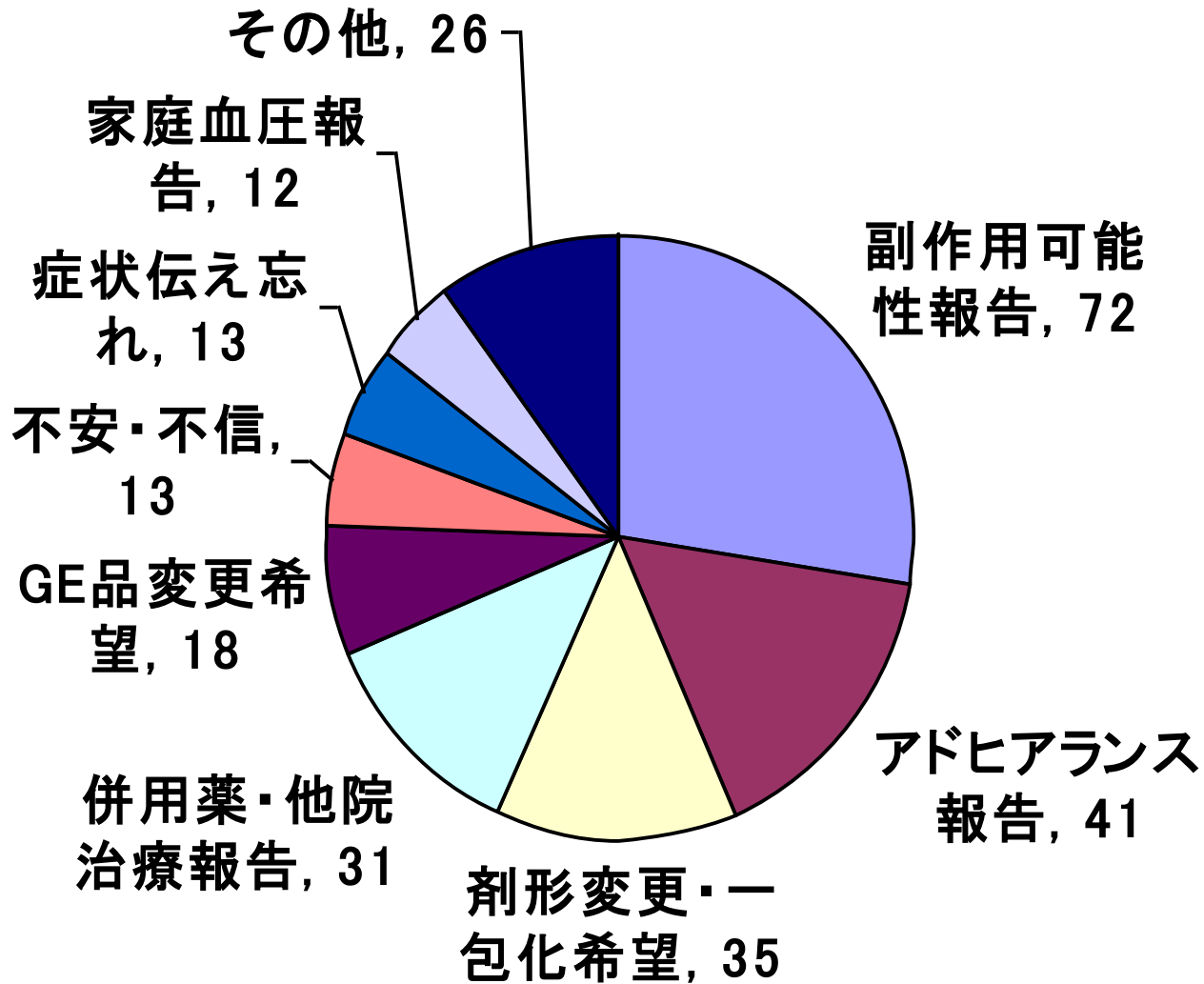


薬局薬剤師が医師を補い、患者様の治療上重要な情報を汲み上げ医師に報告して治療に反映させる。

対象：2005年6月から2008年12月までにトマト薬局5店舗より提出されたTR表計261枚

目的：TR表を内容で分類し、提出されたTR表の傾向を分析する。
その事によりTRの実態を把握し、TR表提出のポイントを見つける。

TR表の分類(261枚)



TR表有効例①、84歳女性

気管支が弱い患者で、咳が続いていたが、ツロブテロールテープ2mg使用で咳の症状は改善した。しかし特に冬場にテープのかぶれが強くなり、胸部・背中・上腕部とも使用困難になる。患者様の判断で咳がひどい時にテープでかぶれるのを承知で使用。咳が軽い時はテープは未使用で我慢していた。

TR表にてテープの使用状況を伝えるとともに、ツロブテロール錠への変更を提案した。

処方がツロブテロール錠1mg分1就寝前に変更になり患者様のQOL向上に貢献した。

TR表にて剤形変更し患者様のQOL向上

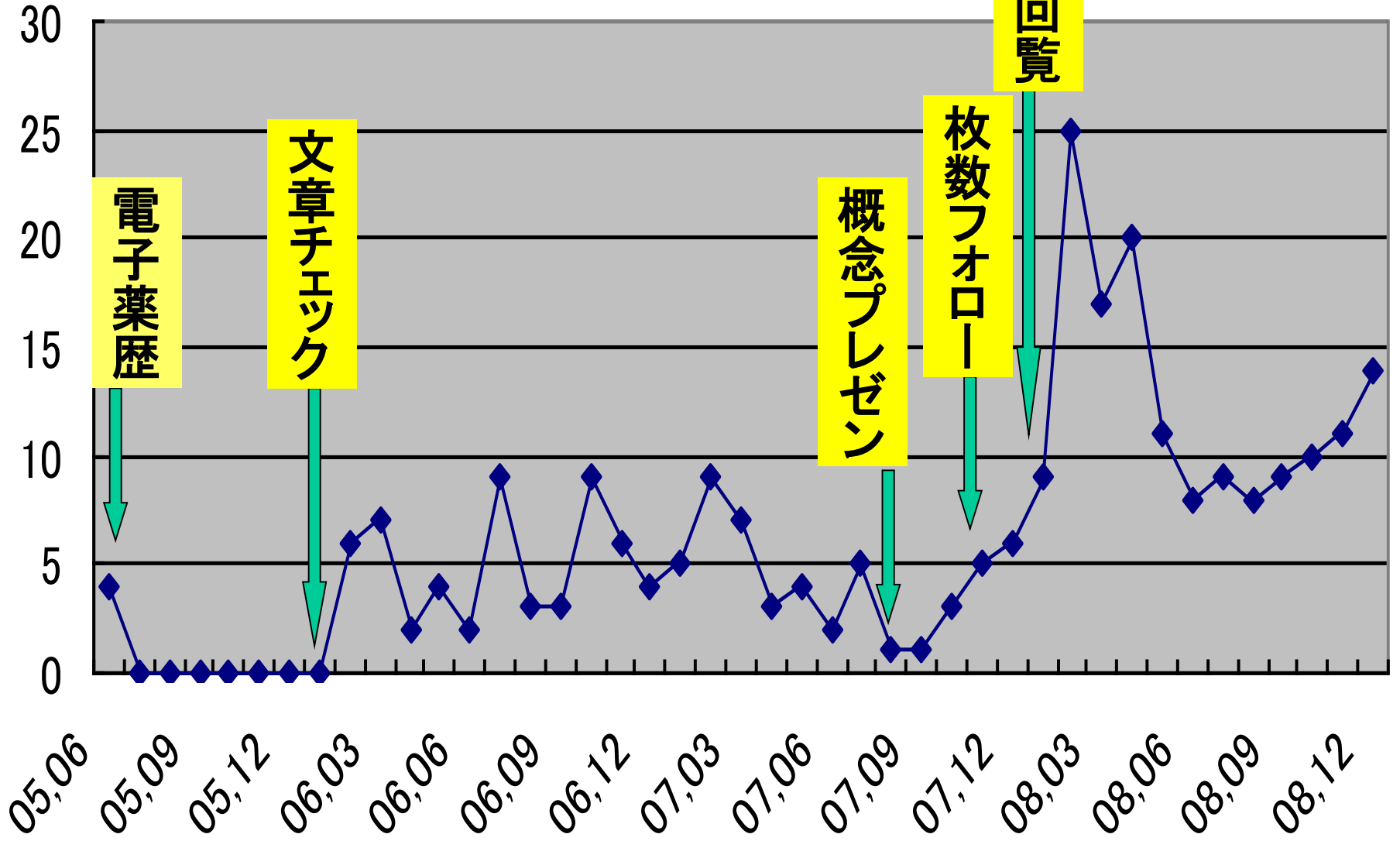
TR表有効例③、75歳女性

めまい・イライラ・不眠の症状のため市販薬のツムラ中将湯を飲んでいるが、保険医療用の漢方薬はないかと尋ねられる。ツムラに確認し、ツムラ67番女神散5.0gとツムラ71番四物湯5.0gで代替え出来るとの回答得たためTR表にてDRに報告。上記薬剤追加で経過良好。月約6000円の患者負担低下。

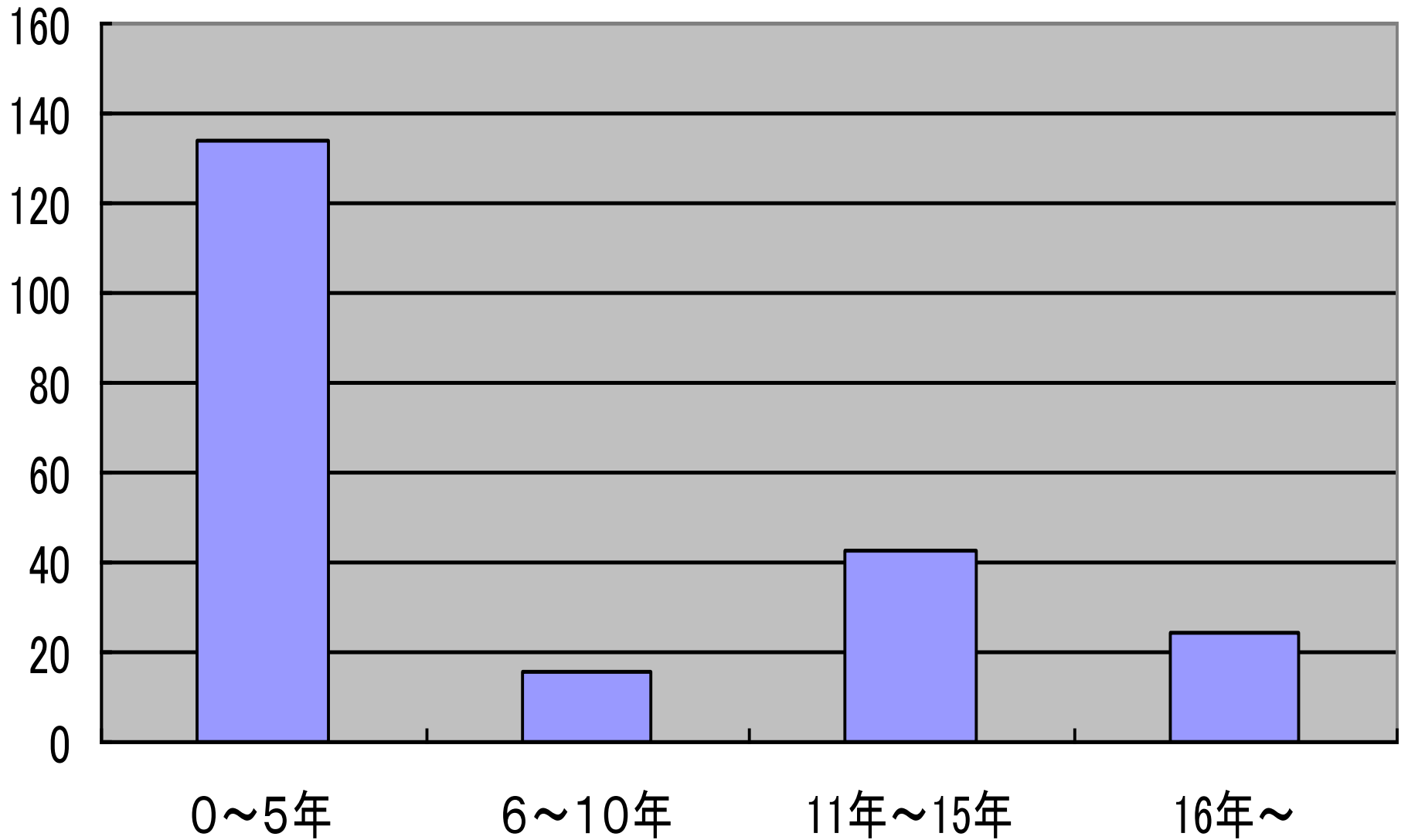
TR表でOTC薬から医療用薬に変更・患者負担減

TR表枚数推移

(枚)

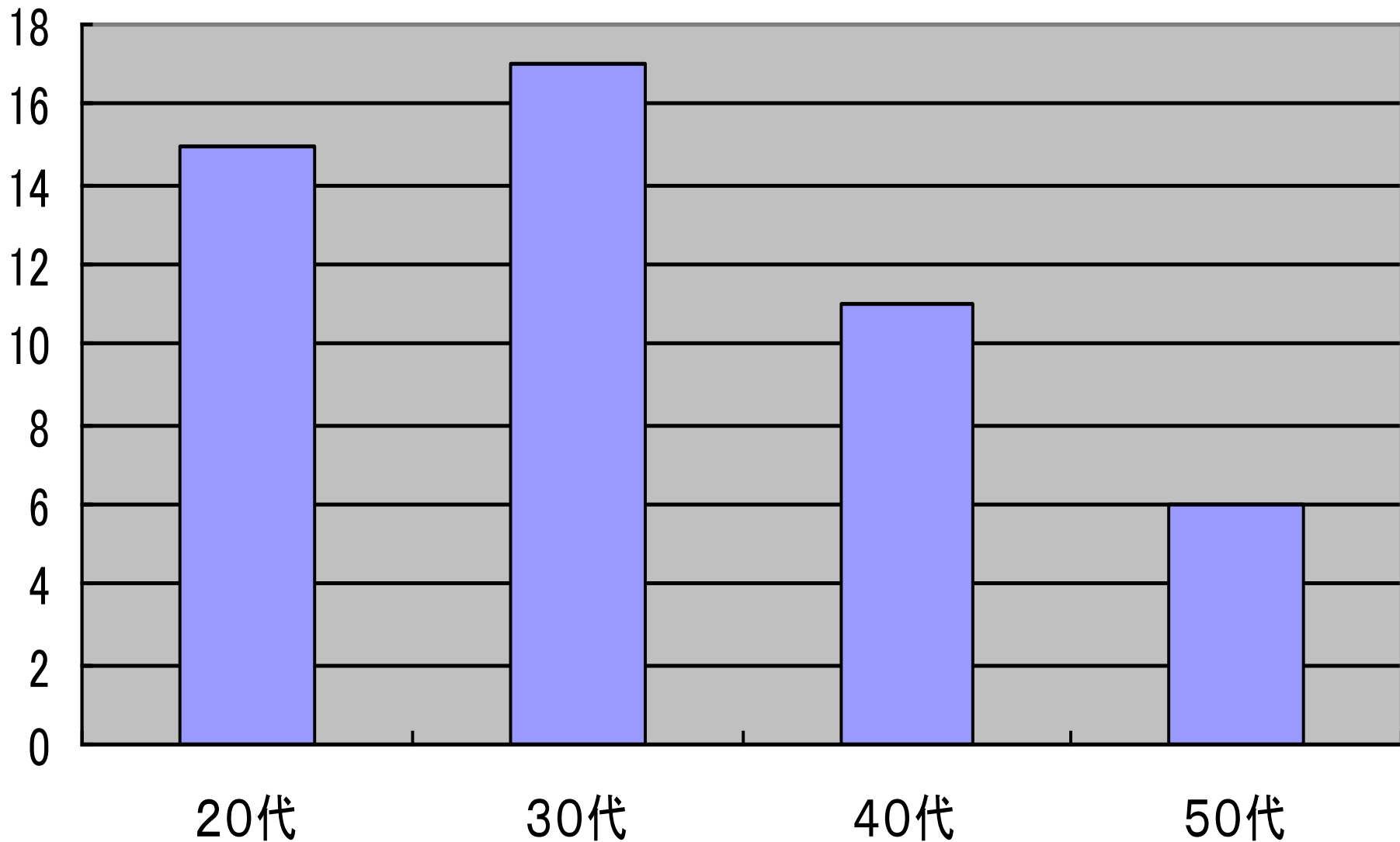


薬局薬剤師経験年数とTR表枚数



年代別1人当たりのTR表提出枚数

(枚)



考察: TR表は患者満足度向上と医療機関の信頼向上に有効な手段と考えられる。

提出されたTR表の主なものは以下の通りであり、

○副作用の可能性

○剤形変更・一包化等提案

○治療についての不安や不信

に関しては薬剤師の**医師に報告しようとする意識**が重要と考える。

○併用薬と他院での治療状況

○アドヒアランス

○家庭血圧

に関しては、薬剤師が**今まで以上に意識して聞き出す必要**があると考えられる。

TR表の枚数を多くして定着させる手法として

有効な手段は

○TR表作成簡素化のシステム導入

○薬歴標準化

○TR表の概念のプレゼンテーション

○TR表文章のチェックによる文章力向上

○店舗毎のTR表枚数フォロー

○TR表の回覧

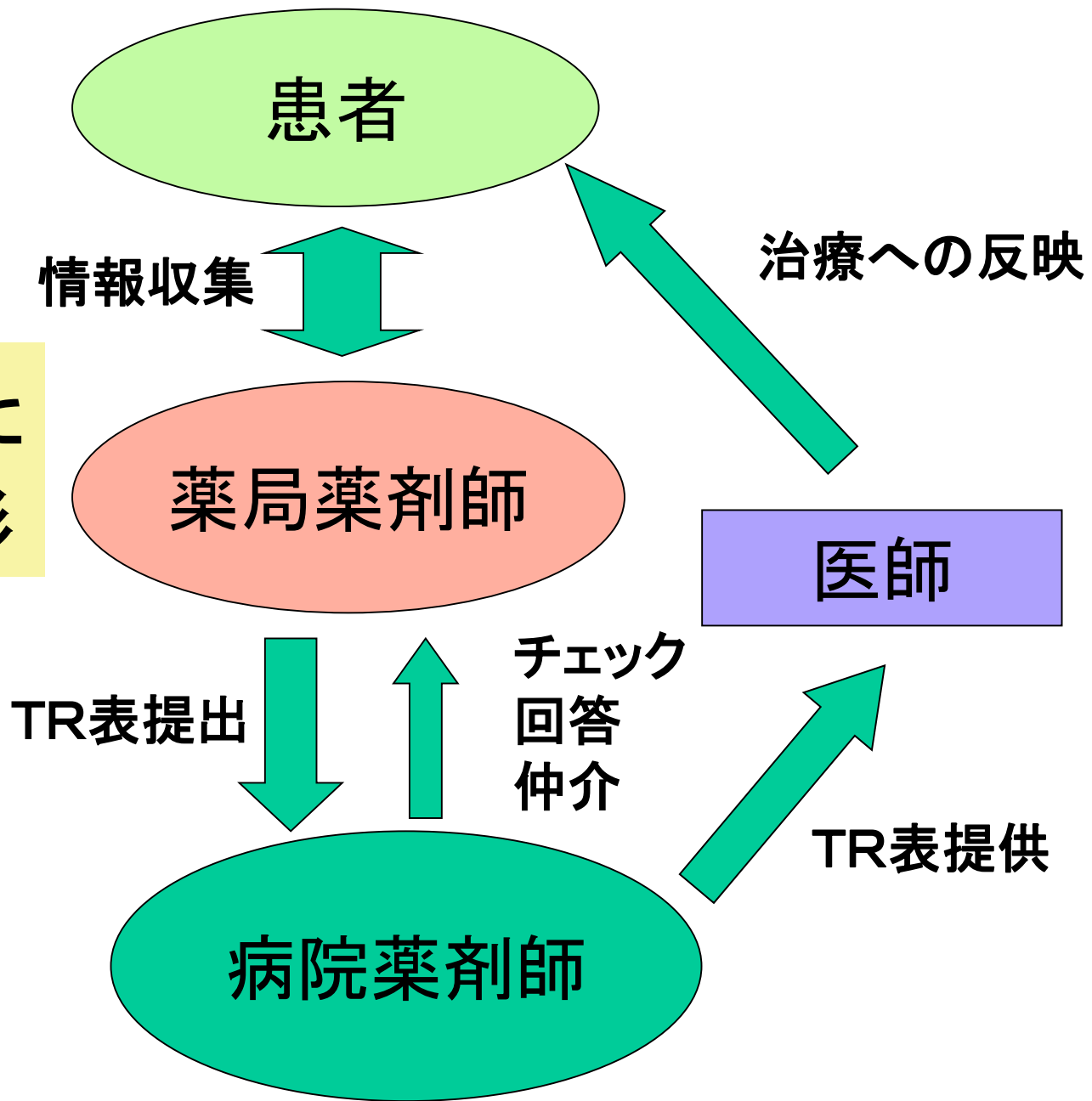
であった。

【所感】

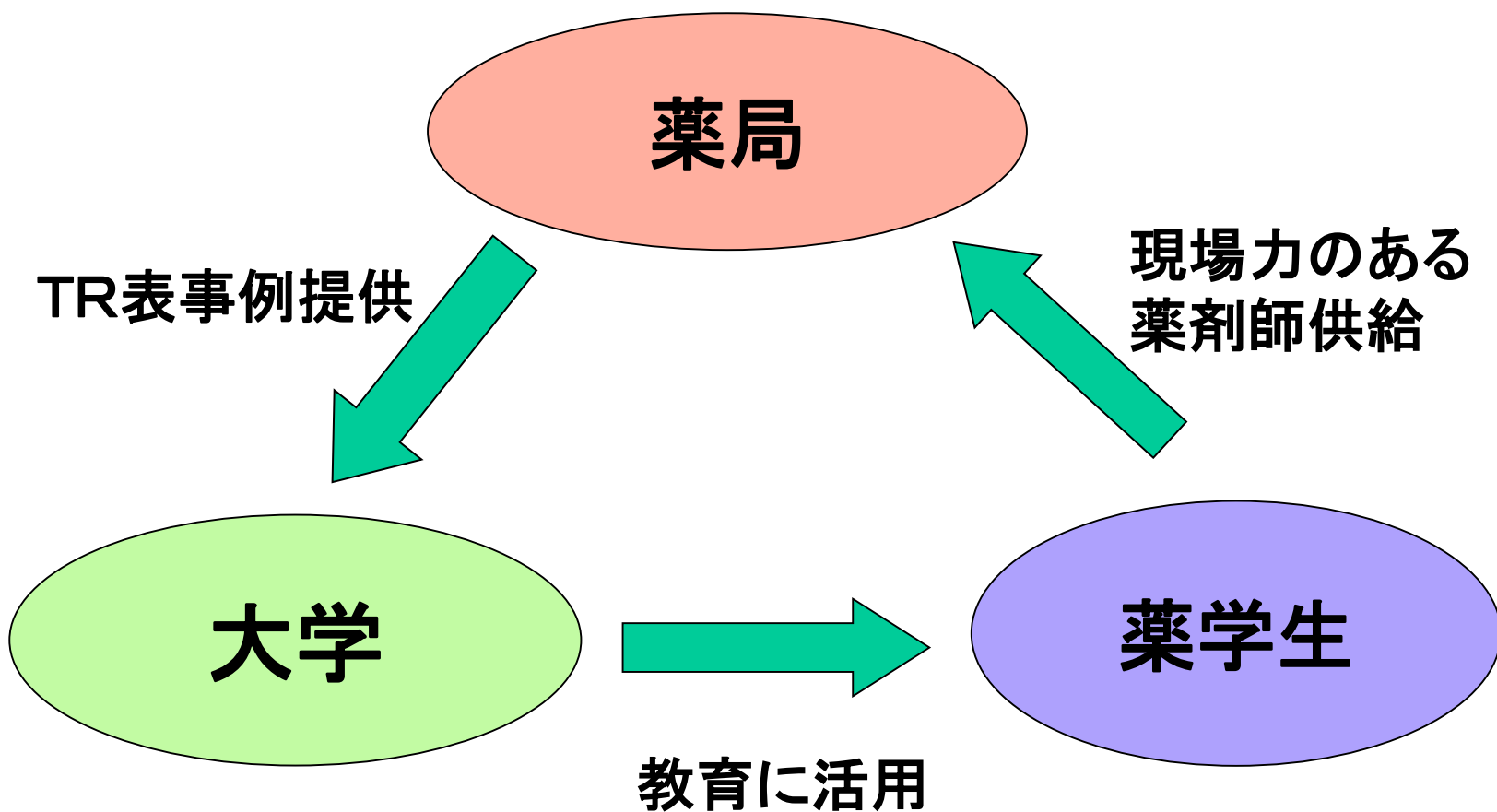
TR表提出が定着した事により処方元の評価も高くなって来ている。薬局薬剤師においてもチーム医療に積極的に参加する事でモチベーション向上の効果が出ている。また患者様に薬局薬剤師の意義を理解してもらう手段としても有効である。

今後の課題としては、若く薬局薬剤師経験の浅い薬剤師がTR表に積極的に取り組む事から、TR表を介した薬学連携と地域での薬薬連携が必要と考える。

TR表を介した
薬薬連携の形



TR表を介した薬学連携の形



TR表有効例③、75歳女性

めまい・イライラ・不眠の症状のため市販薬のツムラ中将湯を飲んでいるが、保険医療用の漢方薬はないかと尋ねられる。ツムラに確認し、ツムラ67番女神散5.0gとツムラ71番四物湯5.0gで代替え出来るとの回答得たためTR表にて医師に報告。上記薬剤追加で経過良好。月約6000円の患者負担低下。

TR表でOTC薬から医療用薬に変更・患者負担減

症例1、66歳 女性

Rp ムコダイン錠500mg 3錠
アクティーム90mg 3CP
分3毎食後 5日
ミアクトMS錠100mg 3錠
分3毎食後 3日

TELにて患者様から副作用の可能性の訴え
原因薬剤カット

患者様より処方薬を2回服用後に薬局にTELあり

- 目の周りの乾燥と痒み
- 口唇のはれ
- 口内の水疱
- 頭部と耳の痒み
- 上まぶたが紫色になる

上記の症状が出たとの連絡あり。よく伺うと、数年前に卵アレルギーが出た事があり、その後は卵を普通に食べていた。以前から服用のムコダイン以外の薬中止を指示し、早めに再受診勧め処方医にTR表で報告。その後ムコダインのみの処方になり症状消失。

症例4、59歳女性

Rp ニルジラート2 2mg 2錠
分2 朝夕食後

上記薬剤服用後顔面の潮紅・ほてりが発現、時間とともに症状改善していたが、夏場に症状が強くなった。患者様からは処方医に伝えにくいとの事で薬剤師からTR表にて報告。オルメテック錠10mg 分1朝食後に変更後症状は消失しQOL向上した。

**患者様から処方医に伝えていない副作用をTR表で報告。
処方変更によりQOL向上**

症例6、69歳女性

Rp ノルバスク5mg 1錠
ディオバン40mg 1錠
分1朝食後
ガスモチン錠5mg 3錠
ラックビー微粒 3g
酸化マグネシウム 1.5g
分3毎食後

患者様の御家族より、患者様が脳出血後遺症のため口の周辺の麻痺があり、散剤の服用が困難な事を聴取。酸化マグネシウムからマグミット錠へラックビー微粒からビオフェルミン錠への変更をTR表にて提案。マグミット錠500mg 3錠とビオフェルミン錠 3錠に変更になる。

TR表にて服薬コンプライアンスの向上

症例7、64歳男性

Rp ニフェランタンCR錠40mg 1錠
ケルロング錠5mg 2錠
ミカルデイス錠40mg 1錠
分1朝食後 30日分

患者様よりGE品への変更希望あったが代替調剤可の処方箋ではない。TR表にて患者様の希望とケルロング5mg→アロング5mgへの変更で760円/月の患者負担減になる事を処方医に報告。変更により患者満足度向上に貢献。

**患者様のGE品変更希望と切り替え効果
をTR表にて連絡**

症例8、58歳男性

ニトロペン錠を月に約20錠使用する患者様。
知人からスプレータイプでニトロペン100回
分の製剤のお話を聞かれ薬局にて相談される。
薬局に在庫なかったため、TR表にてニトロール
スプレーの薬価・添付文書と併せて処方医へ
報告。ニトロールスプレー処方により患者満足
度向上。

患者様の希望によりTR表にて未採用薬剤の処方提案

症例9、90歳男性

Rp	ノイファン錠100mg	2錠
	分2朝・夕食後	30日分
	エパデールS600mg	3袋
	アポノール錠20 20mg	3錠
	ミオナール錠50mg	3錠
	分3 毎食後	30日分

患者様の奥様からアポノールとノイファンのシートが同色で錠剤の大きさもほぼ同じため御本人の区別がつかずに奥様の手を借りて服薬している事を聴取。TR表にて処方医に状況を報告して一包化を提案。一包化によりコンプライアンス向上。

TR表にて一包化の提案。コンプライアンス向上